

危険な羽田新ルートは中止を！

3月29日から運行予定の羽田空港新ルートについて、2／2～12日までの延べ7日間にわたり実機飛行確認が行われ、区には騒音等37件の苦情が寄せられています。

日本共産党区議団は、国交省の事前説明で70デシベルとされていた騒音が、落二小の測定器で78デシベルだったこと、騒音緩和のため降下角度を3・45度としたことに対しデリラ航空などが実機飛行を見合わせたこと、国際定期操縦士協会連合会（各国のパイロットで構成）からも危険性が指摘されていることなどをあげ、飛行ルートの中止を国に申し入れるべきと質問しました。

コロナウイルスの影響で新ルートの必要性がなくなったことを問うと、区長は「路線縮小や海外からの観光客の減少がある。悪天候



で新ルートでないと安全確保できない時に使うという姿勢だ。」と答え国に中止を求める考えは示されませんでした。

当選後初の
条例提案を行いました。
高月まな議員

予算特別委員会で
しめくくり質疑を行いました。
近藤なつ子議員

予算特別委員会で
総括質疑を行いました。
雨宮たけひこ議員

当選後初の予算特別委員会で
反対討論を行いました。
藤原たけき議員

学童クラブの増設を！

「一斉休校」のため、学童クラブと「ひろばプラス（学童クラブ機能付き放課後子どもひろば）」は、それぞれ新たに94人と43人（3／2現在）の急遽登録者が増えました。しかし、元々定員オーバーの学童クラブが多く、高学年の子どもはほぼ利用できません。

学童クラブは30クラブ中18クラブが定員オーバー状態で、日本共産党区議団は児童館の一般スペースを狭めて学童クラブの定員を増やすやり方ではなく、学校内などに増設することを区長に求めました。区長は、既存スペースの有効活用や民

間学童クラブの誘致など総合的対策を講じると応えましたが、区立学童クラブの増設なしに抜本的解決はできません。

2020年度は鶴巻小学校に学校内学童クラブが設置されることになりましたが、日本共産党区議団は更なる増設を求めて行きます。



気候変動 プラスチック減らそう

日本共産党区議団は、気候変動を原因とする酷暑や災害から区民を守るため、新宿区でも地球温暖化対策を進めるよう区長に質問しました。

全国の自治体に広がりつつある「気候非常事態宣言」を、新宿区としても行うよう区長に求めたところ、国会決議が検討されているので国の動向も踏まえて区として対応を検討するとの答弁でした。

また、プラスチックごみ削減の取り組みについては、庁舎内の自販機からペットボトル飲料を排除し、さらに外郭団体等にも要請するよう提案をしたところ、区長は「使い捨てプラスチック削減計画」に基づき一層のプラスチックごみ削減につなげていくと答えました。



良かったね！ 区民のねがい実現

主なものを
照会します

2020年度
予算

精神障害者（1級）への障害者福祉手当支給

鶴巻小学校内学童クラブ新設（定員20人）
学校内学童クラブ定員拡充 3所
児童館内学童クラブ定員拡充 2所

私立認可保育園3所（2020年度新規オープン）
// 2所（2020年度認証から移行）
// 3所（2020年度定員拡充）
// 4所（2021年度オープン予定）

幼児教育・保育の無償化に伴い副食費無償化
特別支援教育推進員の拡充 38人→45人
家主の不安解消に入居者死亡事故保険助成（新規）
野球場・庭球場の照明LED化など改修工事



条例提案 予算修正提案

予算修正の項目（*印は条例提案も行いました）

- *①子どもの医療費助成を18歳まで拡大
②給食費の就学援助対象拡大
- *③国保料の子どもの均等割第3子以降無料化
④区が廃止予定とする若者向け家賃助成の継続
⑤商店街路灯維持費への補助率を10割に引き上げ
- *⑥がん検診の無料化
⑦高齢者紙おむつ助成額を8000円に増額
⑧生活保護受給者に夏の見舞金を支給

条例案の採決結果

（●提案者 ○賛成 ×反対）

	共産	自民	公明	立民	新宿	社民	スタ	ちい
①18歳医療費無料化	●	×	×	×	×	○	×	○
③国保料第3子以降減免	●	×	×	×	×	○	×	○
⑥がん検診無料化	●	×	×	×	×	○	×	×
予算修正案	●	×	×	×	×	—	×	—

自民＝自民党
公明＝公明党
立民＝立憲民主党

新宿＝新宿未来の会
スタ＝スタートアップ新宿
ちい＝ちいさき声をすくいあげる会

↑ 予算特別委員会
に入っていない会派 ↓